

# 滝沢市地域公共交通網形成計画 施策・プロジェクト実施スケジュール表【平成29年度～平成34年度】

●.....→ 検討・協議  
 → 実証・実施

施策・プロジェクト	平成29年度			平成30年度			平成31年度			平成32年度			平成33年度			平成34年度														
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
<b>1 公共交通の利便性向上プロジェクト</b>																														
<b>【施策1-1】地域間幹線軸の品質・サービスの向上</b>																														
①市内主要拠点と隣接市町を結ぶ路線バスのサービス充実（実施主体：市、県交通、県北バス、JRバス）																														
・バス事業者間の連携・調整したダイヤ編成（菓子地区）																														
②拠点形成の変化に合わせた経路の見直し（実施主体：市、県交通、県北バス、JRバス）																														
・滝沢営業所発の路線バスの一部再編（市役所付近経由へ）																														
<b>【施策1-2】市内移動における利便性向上</b>																														
①市内主要拠点を結ぶ地域内交通ネットワークの検討（実施主体：市、交通事業者）																														
②小さな交通需要に対応した交通サービスの検討（実施主体：市、交通事業者）																														
・福祉バスを再編した効率的な（仮称）市民バスの運行																														
<b>2 公共交通の認知度向上プロジェクト</b>																														
<b>【施策2-1】情報発信による認知度向上</b>																														
①公共交通の案内・情報発信ツールの作成（実施主体：市、交通事業者）																														
・「滝沢市公共交通マップ」の更新																														
・「広報たぎざわ」掲載による公共交通の情報発信																														
・公共交通に関する「ちやくぼん」の新デザイン作成																														
②スマートフォン等を活用した情報発信（実施主体：市、交通事業者）																														
・滝沢ナビ（スマートフォンアプリ）を活用した公共交通に関する情報発信																														
<b>【施策2-2】イベント実施等による認知度向上</b>																														
①児童・生徒等を対象とした乗り方教室等の開催（実施主体：市、交通事業者）																														
・バスの乗り方教室の開催																														
②パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施（実施主体：市、関係機関（観光・商業）、交通事業者）																														
・（仮称）チャグバスの運行（観光連携）																														
<b>3 公共交通の環境改善プロジェクト</b>																														
<b>【施策3-1】交通拠点整備による利便性向上</b>																														
①主要拠点の交通環境の強化・待合環境の改善（実施主体：市、交通事業者（鉄道・バス））																														
・市役所及びビッグルーフ滝沢におけるバスカード販売																														
②多言語化・カラーリング等のわかりやすい案内・標識へ改善（実施主体：市、交通事業者（鉄道・バス））																														
・路線バス（青山町線系統）のわかりやすい目的地表示への改善																														
・バス停留所名称の統一（改善）																														
<b>【施策3-2】利用しやすい交通体系の構築</b>																														
①交通弱者に対する交通施策の展開（実施主体：市、交通事業者（鉄道・バス））																														
②乗り換え・乗り継ぎがしやすい運行ダイヤへ改善（実施主体：市、県交通、県北バス、JRバス）																														
<b>4 多様な主体と連携・協働プロジェクト</b>																														
<b>【施策4-1】市民の公共交通に対する意識醸成</b>																														
①地域の公共交通を考える意見交換会等の開催（実施主体：市、市民）																														
・市民を対象とした意見交換会の実施																														
・公共交通セミナーの実施（交通ジャーナリスト・鈴木文彦氏）																														
②地域主体の公共交通維持に向けた取り組みの検討（実施主体：市、市民）																														
<b>【施策4-2】協働・連携による体制づくり</b>																														
①大学と連携した公共交通施策の展開（実施主体：市、交通事業者、市内大学）																														
・岩手県立大学生による調査・研究（小岩井地区意見交換会）																														
・岩手県立大学生による新たな公共交通施策の立案																														
②モビリティマネジメントの推進（実施主体：市）																														
・市職員の盛岡方面への出張における路線バスの利用促進																														
③交通事業者のドライバー確保に向けた取り組みの実施（実施主体：市、交通事業者）																														

